

令和5年度第3回幕別町総合教育会議議事録

1 開催日時 令和5年12月19日(火) 16:30~17:40

2 開催場所 役場3-A B会議室

3 出席委員(6名)

幕別町長	飯田 晴義
幕別町教育委員会教育長	菅野 勇次
教育委員	小尾 一彦
教育委員	岩谷 史人
教育委員	國安 環
教育委員	東 みどり

4 会議次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 意見交換

- ① 第7次幕別町生涯学習中期計画(案)の確認について
- ② 第2期幕別町スポーツ推進計画(案)の確認について
- ③ 幕別町教育大綱(案)の決定について

5 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山端 広和
“ 政策推進課副主幹	太刀野 亜也乃
幕別町教育委員会教育部長	川瀬 吉治
“ 学校教育課長	西田 建司
“ 生涯学習課長	石田 晋一
“ 学校給食センター所長	守屋 敦史
“ 図書館長	岩岡 夢貴
“ 学校教育課総務係長	小野 敦

6 傍聴者

なし

7 議事録

【開会挨拶】

(企画総務部長)

令和5年度第3回幕別町総合教育会議を始めます。飯田町長より挨拶を申し上げます。

(町長)

挨拶

【総合教育会議意見交換（協議事項の説明のみ）】

(町長)

それでは次第に従い進めてまいります。

「(1) 第7次幕別町生涯学習中期計画（案）の確認について」説明願います。

(生涯学習課長)

「第7次幕別町生涯学習中期計画（案）」と「幕別町生涯学習中期計画比較表」でご説明いたします。

生涯学習中期計画の策定につきましては、教育基本法で基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされています。

現計画であります「第6次幕別町生涯学習中期計画」が今年度で終期を迎えますことから、「第6期幕別町総合計画」を上位計画とした総合的な教育計画として、幕別町の教育として進むべき方向を明確にし、生涯学習社会の実現のための指針とすべく、「第7次幕別町生涯学習中期計画」を策定しようとするものであります。

それでは、計画の（案）について説明いたします。

1ページをご覧ください。

「はじめに」からであります。前段において、近年の社会の状況を詳しく書いています。6次からの変更点を赤字で記しています。

次に、計画書の構成及び内容について説明いたします。

2ページをご覧ください。

目次になりますが、この計画は、第1章の「計画の策定」から第3章の「基本計画」までの3つの章により構成しており、第6次の計画と同じ構成であります。

4ページになりますが、第1章「計画の策定」以降につきまして「幕別町生涯学習中期計画比較表」でご説明いたします。

1ページをご覧ください。

左側が第6次計画、右側が第7次計画(案)になり、変更部分を左右ともにアンダーラインで示しています。

「1 生涯学習とは」では、生涯学習の概念と生涯学習に対する期待について記載してい

ます。

2 ページをご覧ください。

「2 現状と課題」では、第6次で少子化、核家族化による子どもたちの生活体験、自然体験の機会の減少により、社会性の未発達やコミュニケーション不足による人間関係の希薄化等を記載していますが、第7次では、第6次でも触れている少子化による人口減少の他、グローバル化、情報化といった課題を追加しています。

また、2段落目では、2015年に国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、3段落目になりますが、2020年初めからは新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延する中で、改めて学びをやめないことの重要性が共有され、ICTなどの新技術による新たな可能性も示されました。

そのような社会情勢の中で、6段落目で、「生涯学習は、町民が社会や経済の変化に対応し、仲間づくりや地域の連帯感の再構築による地域の活性化、各世代に応じた心の豊かさや生きがいの創出などで潤いのある生き生きとした人生を送れる環境づくりに大きな役割を果たすことが期待されるとともに、コロナ禍において「新しい生活様式（ニューノーマル）」が取り入れられる中、どのような状況でも学べる環境や分断されない社会、多様性を認めあう社会の実現にも大きな役割を担うもの」としております。

次に、3ページ「(1) 幕別町の地域特性」では、新たな情報に数字を置き替えました。

5ページ「(2) 実施事業」を記載し、6ページ以降「(3) 町民意識調査から見えたこと」として、アンケート調査の結果を簡単にまとめてあります。

前回計画と同様に、調査の対象を「9歳から17歳まで」と「18歳以上」の2階層に分けて実施し、アンケートの内容は、第6次計画策定の際に行ったアンケートと比較をするため、前回とほぼ同内容で行いました。

アンダーラインを引いた部分が、前回との相違点であります。

8ページ「3 計画の目的」として、この計画は、「幕別町総合計画」のメインテーマである「みんながつながる 住まいる まくべつ」の実現を目指し、本町の生涯学習に関する施策の総合的な推進を図ることを目的として記載しています。

「4 計画の性格」では、9ページ上段にかけて、この計画は「幕別町総合計画」を上位計画とし、行政施策を生涯学習の視点から体系づけた部門計画として位置付ける内容を記載しています。

「5 計画期間」では、2024年度から2028年度までの5年間を計画期間とし、社会情勢等により見直しを行うとしています。

「6 計画の体系」では、10ページ右側「基本計画」の一番下「健康づくりとスポーツ活動の振興」の「施策の方向」として、スポーツ推進計画の策定に伴い、下から2段目に「見る」「応援する」「する」「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくり」を追加しています。

11 ページをご覧ください。

「第2章 基本構想」「1 めざす姿」では、これまで推進してきた取組は、本町の生涯学習推進の根幹となるものとして、引き続き推進・充実を目指すとしていることから下段の「2 幕別町の教育目標」から12ページ「(1) 学校教育目標と実践指標」、13ページ「(2) 社会教育目標と実践指標」は、前計画同様の内容としています。

14ページから32ページは「第3章 基本計画」になります。

基本計画の方策につきまして、本計画の性格は「幕別町総合計画」を上位計画として、その基本計画の「協働と交流で住みいる」と「豊かな学びと文化、スポーツで住みいる」を推進するための行政施策を生涯学習の視点から体系づけた部門計画でありますことから、第6次同様の体裁としているところであります。

14ページ「1 国内交流や国際交流の推進」と15ページ「2 豊かな人生を育む生涯学習の推進」については、18ページ上段までにつきまして、大きな変更はございませんが、17ページ「(6) 図書館機能の拡充」については、6次から更に進んだ事業などを追加しています。

18ページ「3 「生きる力」を育む学校教育の推進」では、【現状と課題】に、GIGAスクール構想により実施した整備内容や校務支援システムをはじめとしたICTの導入による負担軽減などを追加しています。

19ページ【基本方針】及び【方策】につきましては、第6期幕別町総合計画（後期見直し）との整合性、また、認定こども園開設に伴う文言整理を行っています。

23ページ「4 青少年の健全育成の推進」と24ページ「5 芸術・文化活動の振興」については、前計画からの変更はありません。

26ページ「6 歴史的文化の保存・伝承」についてであります。

中段の【現状と課題】と27ページから28ページ【基本方針】、【方策】では、現在、国のアイヌ政策推進交付金を活用し、蝦夷文化考古館、千住生活館の整備を進めていることから、学芸員の配置や多機能型交流施設の整備のほか、アイヌ文化に関する各種講座の実施などについて追加しています。

27ページに戻り【方策】「(1) 施設の充実」の推進事業・事項などの欄に、今まで記載のなかったナウマン象記念館の展示の充実とナウマン象化石発掘調査の継続を追加しています。

28ページ以降「7 健康づくりとスポーツ活動の振興」について、【現状と課題】で、令和3年にスポーツ推進計画が策定されていますので、整合性を図るため、29ページ中段に、スポーツ振興に取り組む内容を追加し、【基本方針】も同様に、教育目標を基本とするスポーツの推進・充実に努める内容を追加しています。

31ページ上段「(4) 「見る」「応援する」「する」「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくり」であります。スポーツ推進計画にあります「計画の体系」の基本目標ごとに推進項目、推進事業・事項などを記載した表を追加しています。

計画（案）の33ページをお開きください。

33 ページから 75 ページに、資料としてアンケート結果を掲載しています。34 ページから 49 ページが 9 歳から 17 歳を対象、50 ページから 75 ページが 18 歳以上を対象になります。

以上、第 7 次幕別町生涯学習中期計画（案）の概要説明であります。

（町長）

教育委員会会議の中でも議論されていると思いますので、総合教育会議の中で特に意見交換したいことや認識を深めることがありましたらお願いします。

（國安委員）

計画（案）4 ページ「1 生涯学習とは」の 1 行目から 2 行目に「学校に通うようになると基礎的な学力を学び始めます。」とありますが「学力を学ぶ」について、意味を伺います。

（町長）

学力を「身につける」ですね。

（生涯学習課長）

各種基本計画を参酌して記述していますが、基礎的な学びを始めるという意味合いで考えています。

改めて記載を検討したいと思います。

（岩谷委員）

「基礎的な学習を始めます」というような簡単な言い方でよろしいのではないのでしょうか。

（町長）

今の意見を踏まえ修正を検討してください。

（東委員）

計画（案）14 ページ、先ほど説明していただきましたが基本計画「健康づくりスポーツ活動の振興」の施策の方向性「見る」「応援する」「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくり」の追加について、いろいろな事情でスポーツができない方が、様々な形で参加してしてもいいのだと思えるような言葉を入れていただいたのはうれしいことだと感じました。

（國安委員）

22 ページ「小中学校の教育の充実」にGIGAスクール構想があると思うのですが、ITが学校でも必須になる時代だと思うのですが、その一方でブルーライトや、電磁波など、子供にとって心配な面もあると思います。

計画に記載されているのはよいと思いますが、一方で（デジタル機器の）長時間の利用により、ブルーライトが健康に及ぼす影響など、マイナス面も押さえていただけるといいのではないかと感じました。

（教育長）

視力の低下が心配ということでしょうか。

（國安委員）

視力というよりは、敏感な方は電磁波を浴びることで学校に行けなくなるような、繊細な方も最近は増えている、それがわかっているのといないでは違うと思います。

いろいろな事情の子供に対応しながら進めていくということが大事かと思います。

（町長）

記載はありませんが、それが前提であると捉えるべきかと思います。

他にございませんか。

「(1) 第7次幕別町生涯学習中期計画（案）の確認について」は、これで終わります。続いて、「(2) 第2期幕別町スポーツ推進計画（案）の確認について」を議題といたします。

（生涯学習課長）

第2期幕別町スポーツ推進計画（案）について、幕別町第2期スポーツ推進計画（案）とスポーツ推進計画比較表でご説明いたします。

計画（案）の目次をご覧ください。

この計画は、第1期と同じく「第1章 計画の策定に当たって」から「第5章 計画の推進に当たって」の5つの章で構成しています。

1ページをご覧ください。

修正・追加部分を赤字で記載しています。

大きく変更になった部分のみご説明いたします。

「第1章 計画の策定にあたって」「1 計画策定の背景と趣旨」になります。

後半の部分になりますが「スポーツ交流人口の拡大や経済の活性化につながるよう、町・町民・地域・関係機関が一体となって、スポーツ振興に取り組むため、「第1期幕別町スポーツ推進計画」を令和3年に策定し、スポーツのまち推進に取り組んできました。一方、近年、新型コロナウイルス感染症拡大により、スポーツを実施する環境など大きく変化しまし

た。第2期推進計画は、基本方針を踏襲（とうしゅう）しつつ、社会の変化等を踏まえ策定します。」としたところであります。

「2 計画の位置付け」については、第1期同様、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「第3期北海道スポーツ推進計画」を参酌し、「第6期幕別町総合計画」の基本構想を基に、「幕別町教育大綱」の基本方針や「第7次幕別町生涯学習中期計画」などの個別計画との整合性を図るとしてあります。

2ページ「3 計画の策定体制」以降につきましては、「幕別町スポーツ推進計画比較表」を用いて、大きな変更点を中心に説明いたします。

この比較表ですが、左側が第1期推進計画、右側が第2期推進計画（案）になっており、変更部分をアンダーラインで示しています。

それでは、2ページ上段「3 計画の策定体制」をご覧ください。

第1期では、「町民と考えるオリンピックの町ワークショップ」の提言に加え、学識者などとの意見交換の内容を盛り込み策定しました。

第2期についても関係団体との意見交換内容を盛り込み策定するものであります。

「4 計画の期間」は、第7次幕別町生涯学習中期計画に合わせ、2024年度から2028年度までの5年間とするものであります。

3ページから6ページ「第2章 スポーツを取り巻く現状」「1 町民のスポーツ意識の状況」「(1) 子どものスポーツの実施状況」は、9歳から17歳までを対象に行った「第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート」を簡単にまとめたものであります。

「■ スポーツをしている人の割合」では、“スポーツをしている”は前回64.0%から今回マイナス7.2%の56.8%、“スポーツをしていない人”は前回33.2%から今回プラス8.9%の42.1%となっています。

「■ スポーツをしていない理由」は、4ページの第2期では“スポーツに興味がない”、“時間がない”、“お金がかかる”の回答が多く、「■ スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度」は、“やってみたい”、“どちらかというをやってみたい”と回答している方が前回57.5%から今回マイナス14.6%の42.9%と関心度が低くなっています。

6ページ上段【参照】に、第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（9歳から17歳）の実施概要を掲載しており、調査人数702人、回収人数259人、回収率36.9%で前回より8.4%低くなっています。

6ページ中段から9ページが「(2) 成人のスポーツの実施状況」になります。

「■ スポーツをしている人の割合」は、前回26.9%から今回プラス2.8%の29.7%、スポーツをしていない人の割合は前回71.2%から今回マイナス2%の69.2%となっており、スポーツをしている人の割合が若干ではありますが増えています。

7ページ「■ スポーツをしていない人の理由」は“時間がない”、“スポーツに興味がない”、“仲間がいない”の回答が多く、8ページ上段「■ スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度」は“やってみたい”、“どちらかというをやってみたい”と回答している

方が前回43.7%から今回マイナス5.8%の37.9%と関心度が低くなっています。

9ページ上段「■ コロナウイルス感染症が拡大する以前のように活動ができているか」ですが、“以前同様に活動している”、“以前ほどではないが活動している”と回答している方が38.7%、“ほとんど活動していない”、“全く活動していない”と回答している方が61.3%となっており、活動していない理由としては、“まだ感染の不安がある”、“外出が億劫になった”と回答されています。

下段【参照】に、第7次幕別町生涯学習中期計画アンケート（18歳以上）の実施概要を掲載しており、調査人数766人、回収人数263人、回収率34.3%で前回より4.1%低くなっています。

10ページから13ページ上段まで、18歳以上のアンケート等の調査結果を第1期と比較して掲載しています。

13ページから14ページ「2 スポーツ関係団体の状況」であります。

「(1) スポーツ少年団の状況」の、団体数及び団員数の推移をみると、登録数が令和元年度は35団体、1,039人でしたが、令和4年度は団体数は35と同じものの団員数が782人、257人減少しています。

下段「(2) 幕別町スポーツ協会の状況」です。

14ページの団体数及び競技人数の推移をみると、令和元年度は団体数34団体、人数4,436人でしたが、令和4年度は団体数が28と6団体減少し、人数も3,770人と4年間で666人減少しています。

(3)～(5)は各団体の状況を掲載しています。

下段から16ページ「3 スポーツ施設の状況」は、町内スポーツ施設の状況を示していません。

17ページをご覧ください。

「第3章 計画の体系」「1 基本理念」と「2 基本目標」、18ページ「3 SDGsを踏まえた計画の推進」、18ページから26ページ「4 計画の体系」は第1期から大きな変更はありませんが、19ページ中段の基本目標「2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！」の施策の方向で、第1期では“コミュニティスポーツの普及”としていましたが、第2期では、(4)パークゴルフの普及と(5)パラスポーツ普及に分けています。

21ページから28ページが「第4章 基本計画」になります。

第3章の5つの基本目標に沿って、《現状と課題》、《目標（KPI）設定》、《施策の方向》をそれぞれ示しています。

「1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気醸成しよう！」について、中段《目標（KPI）設定》の、“町の応援活動の満足度”について、表左側の第1期のアンケート結果（H30）が85%、目標値（R5）が88%に対し、右側の第2期のアンケート結果（R5）が79.8%であり、目標値（R10）を5.2%増の85%、“スポーツ合宿・大会の受入者数”について、第1期では現在値（H30）299人、目標値（R5）420人、第2期では現在の受入者数が令和4年度

の実績で208人であり、第1期の目標値を下回っていることに加え、帯広市とその周辺町村で10年間、開催されていたサッカー日本クラブU-15選手権が開催期間終了となり、大会受入者数の増加が見込めないことから、目標値（R10）を下方修正し200人と設定したところであります。

《施策の方向》では、「(1) 各種メディアによる情報発信の強化」と「(2) 町内出身アスリートの応援における町全体での機運醸成」について、共にSNSを活用し情報の提供を行うこととしています。

22ページ「2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！」であります。

下段《目標（KPI）設定》では、第1期計画において“成人のスポーツ実施率”を目標値（R5）30.0%と設定し、第2期のアンケート結果（R5）が29.7%とほぼ目標を達成しています。

一方、“子どものスポーツ実施率”については、第1期の目標値（R5）を68.0%と設定していましたが、第2期のアンケート結果（R5）は56.8%でした。

第2期の《目標（KPI）設定》については、成人の実施率は、第1期目標値（R5）の30%を上回るよう目標値（R10）を32%、子どもの実施率については、第1期のアンケート結果の現在値（H30）を目指すものとして、第2期目標値（R10）を64%としました。

《施策の方向》について、23ページ中段に、先ほど「4 計画と体系」で説明した「(4) パークゴルフの普及」と「(5) パラスポーツの普及」を追加しています。

下段「3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！」の《現状と課題》について、24ページにわたりますが、現在、公立中学校等の部活動について、学校単位から地域単位への移行が検討されていることから、今後の動きについて追加しています。

下段《目標（KPI）設定》になりますが、第1期では、“体育連盟加盟競技人数”を現在値（R1）4,436人、目標値（R5）4,600人、“町内スポーツイベントのボランティア実績人数”現在値（R1）180人、目標値（R5）200人と設定していましたが、スポーツ推進委員及び社会教育委員の会議において、人口が減少する中、競技人数を目標値にするのではなく、人口に対する割合で設定し、スポーツイベントのボランティア実績人数は、コロナ禍で開催できていないことと、毎年ボランティアが必要なイベントの開催が見込めないのであれば、スポーツをする子供たちの割合で設定するのが好ましいとの意見から、“幕別町スポーツ協会加盟協議人数”と“スポーツ少年団登録団員人数”を割合で示すこととし、目標値（R10）を19.6%、62.2%とそれぞれ現在値（R4）の5%増としたところです。

下段の《施策の方向》では、25ページ「(2) スポーツ指導者やボランティアなどの人材育成」において、「公立中学校等の運動部活動の地域移行に向け、指導者・運営者や総合型地域スポーツクラブを含め多種多様な活動の場の確保に努めます。」を追加しています。

「4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！」について、《現状と課題》では、農業者トーニングセンターと札内スポーツセンターの利用人数が徐々に増加している現状を踏まえ、修正しています。

26ページ「目標（KPI）設定」について、第1期のトレセン・スポセン利用人数の目標値（R5）を、令和4年度実績では、ほぼ達成しており、令和5年度についても上回る見込みでありますことから、第2期の目標値（R10）をトレセン35,000人、スポセン120,000人としました。

この数字は指定管理者からの提案書で示された目標人数を参考としつつ、コロナ以前の平均値と最多利用数を比較し、設定したものです。

“スポーツ環境の満足度”は、第2期のアンケート結果（R5）52.5%と、第1期の目標値（R5）70.0%を下回っていることから、目標値（R10）を結果の5.5%増の58%と設定しました。

27ページ「5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！」について、「現状と課題」では、「新型コロナウイルス感染症拡大後において中止となっていたイベント等が再開され、スポーツを取り込んだ観光イベントについて、関係団体と協力し取り組んでいくことが必要」の一文を新たに追加しています。

下段「目標（KPI）設定」では、“オリンピックたちからのメッセージ「マチアルキ」視聴回数”について、令和5年10月時点の実績が目標値に達していないこともあり、第1期においても目標値（R10）を300回としたところであります。

第1期では“スポーツと観光イベントの入込客数”を目標に設定していましたが、「現状と課題」で「町内出身のオリンピックやアスリートを応援大使とする事業の更なる魅力を発信することが必要」としていることから、第2期では“幕別町応援大使ふれあいイベント参加人数”を目標に設定いたしました。

下段「施策の方向」(2)「スポーツを活用した地方創生」では、28ページ「町の特産品を使用したジュニアアスリート向けレシピが完成したことから、広くPRしジュニアアスリートを応援する」としました。

以上でスポーツ推進計画（案）の説明を終わります。

（町長）

それではご意見をお願いします。

（國安委員）

計画は5年間ということですが、eスポーツはスポーツに入るのか、5年後にはどうなっているのかわからないことから、お伺いします。

（生涯学習課長）

eスポーツをスポーツと捉えるかということもありますが、現状においては、スポーツという認識は持っていませんが、（名称が）スポーツとなっていますので、他の町では、スポーツ協会に加盟するところもあるかもしれませんが、本町としては、現状、そこまでの考え

は持っておりません。

(國安委員)

ありがとうございます。

共通認識を持ったほうがよいかと考え、質問しました。

(町長)

スポーツ推進計画にはありませんが、町としては支援をしていくという立場にありますから、計画への記載に関わらず、これまで同様に今後も支援していきたいと考えています。

他にございませんか。

(小尾委員)

計画(案)9ページ「2 スポーツ関係団体の状況」で、スポーツ少年団登録団体数と幕別町スポーツ協会団体数が載っていますが、どういう団体、競技があるのか載せるとわかりやすいのではないかと思います。

(町長)

たくさん競技もあるのでしょうか、表しきれぬかという問題もあると思います。

競技ごとに整理ができるでしょうか。

(生涯学習課長)

ホームページはできると思います。スポーツ協会加盟団体ばかりですが。

(町長)

固有名詞を記載するのはあまり意味がないので、スポーツ協会28団体、少年団35団体、ジャンルで分けるのが難しいかもしれませんね。

(岩谷委員)

後ろに参考資料として競技別に団体名を載せる、あるいはこういう団体があるというのを、広く町民に知っていただくというのはホームページと合わせて、例えばテニスのサークルに入りたい方が活動団体を探した時に、アクセスしやすいような形はあってもいいと思います。

そういう点では参考資料として一覧表を掲載することもよいかと思います。

ですが、そうすると、生涯学習中期計画に文化団体を掲載する話も出てくるのですが。

(町長)

固有名詞は団体の変動があるため、最新の情報はホームページにしておくのがよいのでは。

確かにスポーツに親しむという意味では、問い合わせ先が分かればいいですね。

(生涯学習課長)

今、小尾委員からお話をいただきましたが、スポーツ推進計画に一覧を掲載するのは、5年間の間で団体の変動もありますので難しい点があります。

ですが、表の下に、ホームページにアクセスして今の状況が確認できるようにし、最新の情報はホームページでご確認いただくようアナウンスすることができると思います。

(町長)

計画(案)25ページ「(2)幕別町スポーツ協会」に、加盟団体の情報についてホームページをご覧くださいという形で案内ができればいいですね。

他にありませんか。

(岩谷委員)

計画(案)9ページ、“スポーツ少年団登録団員数と団体数の推移”、それから“幕別町スポーツ協会団体数と競技人数の推移”の表がありますが、数字による一覧表よりも折れ線グラフか何かにした方が、視覚的には見やすいという感想を持ちました。

(町長)

折れ線にして数字を書いていくのが一番わかりやすいですね。確かに数字だけでは増減がわかりにくい。

(生涯学習課長)

持ち帰って検討したいと思います。

(町長)

他にございませんか。

「(2)第2期幕別町スポーツ推進計画(案)の確認について」は、これで終了いたします。

次に「(3)幕別町教育大綱(案)の決定について」であります。

(政策推進課副主幹)

「第3期幕別町教育大綱(案)」について、説明いたします。

教育大綱につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項の規定に基づき、「地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは」総合教育会議において協議すること」となっていますことから、その協議に当たって作成した案になります。

配布資料のうち、資料3-2「幕別町教育大綱 比較表」をご覧ください。

この表により、前大綱からの主な見直しについてご説明いたします。

この比較表は、左側が現在の第2期である2019年度から2023年度の教育大綱、右側が新たに策定する第3期、2024年度から2028年度までの教育大綱（案）となっており、表の文中の下線部分が今回見直しを行った箇所であります。

1ページ「1 教育大綱 策定の背景と趣旨」についてであります。

今回の主な見直しは、この1番の部分の記述であります。

上から3段落目「幕別町においても・・・」の段落については、その下5行目にあります、最初の下線部分になりますが「平成27年9月に」の後に、「第1期、平成31年3月に第2期の」と策定の経過に第2期に関する記述を追加し、続く「幕別町教育大綱を策定し、」の後に、「基本目標の達成に向け取り組みを進めてきたところであります」と加え、年次の更新と文言整理を行っています。

次に、そのすぐ下の段落「第2期の終期を迎える今、・・・」と続く一文が今回新たに盛り込んだ見直し内容となっており、前回策定時の平成31年以降、時代、社会の状況等が大きく変わっておりますので、その辺の背景に係る記述と、教育の役割、大綱の策定趣旨についての記述を加えています。

具体的には、配布資料のうち、資料3-3の冊子が、国が本年度新たに策定しました「教育振興基本計画」になり、大綱はこの基本計画を参酌することとなっておりますことから、この中の記述の一部をそのまま引用しています。引用箇所は、5ページと6ページの黄色マーカー部分になります。

比較表に戻り、右側の表の上から4段落目の下線「第2期の終期を迎える今、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の不安定化など、将来の予測が困難な時代において、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっており、こうした認識の下、今後の本町における教育行政の総合的な指針として第3期「幕別町教育大綱」を策定するものであります。」と、時代背景と教育の役割、そして策定の趣旨を記載いたしました。

次にその下「2 教育大綱の位置付け」については、内容等について変わりありませんが、国の通知や法令に倣った形での文言の整理や、年次の更新を行っています。

「この大綱は、」の後の下線になりますが、「本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を」とする文言を追加いたしました。こちらは、国が当初、地方自治体における大綱の策定にあたり、平成26年に発出した通知に記載の大綱の定義を引用したものであり、この文言を加え、定義を明文化、明確化し

ました。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、大綱は「国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌する」とされておりますことから、次の段落の「策定に当たっては」以降になりますが、国の「第4次教育振興基本計画における基本的な方針を参酌し、」とした他、「第4次」や「第7次」といった各計画における年次更新を行っています。

2ページは、上の丸枠の囲みの下に、大綱策定の根拠法令の条文を記載していますが、第2項「大綱については総合教育会議で協議する」と規定する条文を追加しています。

「3 大綱の期間」及び「4 施策の実施」については年次のみ、見直しをしています。

2ページ下段から3ページにわたる「5 施策の柱」については、先ほど生涯学習課から説明のありました「第7次生涯学習中期計画」の中の基本計画の記載内容を、項目ごとに転記しているもので、生涯学習中期計画に合わせての見直しのため説明を省略します。

4ページは「第7次生涯学習中期計画」における「幕別町の教育目標」を本大綱の「基本目標」とし、そして「具体目標」については「生涯学習中期計画」と同じとして、その下に、先ほどの「5 施策の柱」とその「方策」をぶら下げ、本大綱を体系化したものであり、こちらも「生涯学習中期計画」のとおりとなっておりますので説明は省略します。

以上が、第3期幕別町教育大綱（案）に係る説明となります。

（町長）

ご質問などをお受けします。

教育大綱としながらも、生涯学習中期計画を受けて、主要な部分を列挙したというものであります。

教育大綱については、総合教育会議の中で協議するものでありますので、ここで決定をしていただくこととなります。

具体的には、後ほど、スケジュールの中でご説明いたします。

（國安委員）

目標はとても大きくて素晴らしいと思いますが、「豊かな」というのは、私が思うのは成長する喜びだと思えます。

「豊かな」という言葉はとても広い言葉で、もう少しわかりやすく書かれているとよいのではないのでしょうか。

行間に書いてあるといいのですが、「豊かな」という言葉がいくつも並んでいると、豊かさの意味がわからなくなる、そういう感想です。

（企画総務部長）

国の教育振興基本計画を参酌することとされておりますことから、国の基本計画に記載の現状、課題、展望の文言を引用している形になっております。

(教育長)

元々、幕別町の教育目標があつて、その下に学校教育目標、社会教育目標があり、それから各学校の目標があつたりして、國安委員が言われる内容は、どちらかという学校の目標に具体的に記載されていて、幕別町の教育目標では、大きく漠然とした表現ですが「豊かな」という言葉を使っています。

(岩谷委員)

3ページと4ページに記載されてる「(2)の豊かな人生を育む生涯学習の推進」の【基本方針】のところ、先ほど生涯学習中期計画の中にもあつた社会教育士という人たちの活用を、施設の利用っていうハード面の利用とともに、ソフト面でも社会教育士の活用を図っていくような文言が入ると、とてもよいと思います。

社会教育士に限らず、人材の知識とか技能を活用するっていう、そういう文言があるとよいと思います。

(企画総務部長)

例えば、社会教育士は生涯学習中期計画(案)18ページから20ページ「2 豊かな生涯学習基本方針推進」の19ページ「(3)指導者・団体の育成」の推進事業の中に記載がありますが、総合的な方針を策定するような形で作られておりますことから、中期計画の基本方針に準じた形で整理しています。

(町長)

非常に、漠然としているのですが、当然、生涯学習中期計画に沿って進めていくことになり、基本方針の形で完結することになっています。

(教育長)

大きな枠組みでの記載にしかならないので、生涯学習中期計画で具体的な推進計画を記載しています。

(教育長)

生涯学習中期計画の【基本方針】の記載がハード面だけなので、仕方がないかと思いません。

確かにその通りですね。

(小尾委員)

令和8年から幕別小中学校を一つにした義務教育学校の開校を進めているのですけれど

も、計画（案）5 ページ【方策】に「① 小中学校教育の充実」があり、義務教育学校も含めるのか、それとも、開校を機に、義務教育学校についての一文を入れなのか、いかがでしょうか。

（町長）

一貫教育の一つの手法なので、詳細なところまで謳うのは、ここでは難しいと思います。

（教育長）

小中学校教育の充実に含まれているのですけども、これもまた、生涯学習中期計画では、小中一貫、教育の充実ということで、義務教育学校までの具体的な記載ではないのですが、事業推進の中で記載しています。

（町長）

非常に具体性がないのですが、教育大綱についてはこれで、終わらせていただきます。その他に移ります。

（企画総務部長）

お手元のスケジュールをご覧ください。

パブリックコメントを1月2日から2月5日まで1か月間、役場庁舎を始め13か所に計画を設置し実施いたします。あわせて広報1月とホームページ等を活用し周知することとしています。

1月16日、議会の総務文教常任委員会所管事務調査で、中期生涯学習計画、スポーツ推進計画、教育大綱、それぞれの案を説明する予定です。

1月下旬、第5回社会教育委員会議、部会長会議の中で生涯学習計画（案）とスポーツ推進計画（案）の確認、2月19日、第4回総合教育会議開催地、パブコメの意見を踏まえた上で、計画案の確認と、最後決定に向けた協議を実施します。

3月4日、第6回教育委員会議全体会議を開催し、生涯学習中期計画を答申、下旬に教育委員会会議で、生涯学習中期計画、スポーツ推進計画を議決し、その後、計画公表、議会等での配布を予定しています。

（町長）

これについて何かご質問ありますか。

その他、皆様から、何かございませんか。

それでは以上をもちまして、第3回総合教育会議を終了します。